

事業名称	こどもの ASOBIBA ひめじ基地
団体名	旧モノレールあそび場制作委員会
協働の相手方	産業振興課

目的	・ 駅西エリアの遊休不動産を活用し、子供たちが自ら自由に遊び、体験できる場所の提供と、同じ思いを持った親子の出会いの場を創出する。 ・ 取り組みを知ってもらい活動を拡大していく。
内容	子どもたちの学びや体験となるイベントやワークショップを通じて駅西エリアに新たなコミュニティの創出とエリアの魅力発信による回遊性向上を実現させる。
事業経過	子どもたちと一緒にあそび場を完成させることができた。期待するイベント、ワークショップの開催はできたが、より多くの親子連れに知ってもらえるよう活動を継続し認知度向上を図る。
事業の効果	集客実績 ・ 月１回開催 小規模イベント・ワークショップ参加人数５～１５名 ・ 年１回開催 大規模イベント約７００名
今後の展望	・ 駅西エリアで親子のふれあいや出会いの場を創出する。 ・ 引き続き子どもたちが楽しめる体験の提供をしていく。

【実施団体の事業総括・感想等】

当初の予定通りのワークショップの回数を開催でき、多くの子供たちに足を運んでもらえた。子どもたちの真剣な表情や楽しむ姿を見ることができ、改めて駅西エリアで自ら遊び、体験できる場所の提供と同じ思いを持った親子の出会いの場を創出する重要性を感じた。
今後も活動を継続し認知度アップと事業拡大を図っていく。

【協働の相手となった所管課の感想等】 ※実施団体は記入しないでください

子育て世代をターゲットに本市施策である「リノベーションまちづくり事業」と「ウォークブル推進事業に係る公共空間利活用」両方の要素を取り入れた非常に有意義な取組で、協働の意義は大きく、子育て世代の繋がりを創出し、駅西エリアの魅力向上に資するものであった。
徐々に当該エリア及び取組に対し、固定客（ファン）も増えている。更なる増加を目指すためには、継続が重要であるため、同志を集い、増やしなが、持続可能な取組として事業を進めてほしい。